

だし丸くんレポート ～第八回はんだ山車まつり～

第3回

まつりのおもてなし

訪れたくなるまち・半田へ



はんだ山車まつりが開催される5年ごとの歳月は、半田の「まちなか・まち」とに大きな変化をもたらします。この5年間もまた然り。まちなかは、集客施設が相次いでオープンし、半田運河界隈の公園・親水域も整備されました。四季折々の多様な企画も催され、まちなか・まちそこから多くの方々が訪れ、半田の魅力を楽しんでいたで

ております。こうした中で開催される第八回はんだ山車まつり。まつりのまち・半田の魅力を堪能しようと、期待いっぱい・ワクワクいっぱい、まちそこから多

くの方々が当地を訪れます。半田商工会議所は、ひとの流れを半田のまち全体へと広げるクーパーン・パスポート事業、山車文化の発展を担った産業である醸造を発信するショップ事業、女性会によるおもてなし、青年部による実行委員会への参画等々、会員事業所の力を結集し、まちなかを訪れる方々へのおもてなしを通じた活性化を図るとともに、次代に向け、飛躍の増加をたどる訪日外国人にも優しい半田のまちづくりへと繋げてまいります。

半田商工会議所青年部は、第八回はんだ山車まつりに参画し、公式認定グッズ・機席を担当しております。公式認定グッズは、まつり当日も販売し、市内外からグッズを求める長蛇の列ができるのではないかと予想しています。前回53万人の来場があったはんだ山車まつり。今回はどれだけの人が訪れるのでしょうか。そしてどれだけの人がお土産を買って帰られるのでしょうか。統計上ではお土産代にのける金額は5,000円未満。グッズの魅力に加え、販売する側のおもてなし方等も重要なかもしれませぬ。また公式認定

グッズのみならず、市内の飲食店・ホテル等にも良い効果が生まれればと思います。機席は、勇壮な半田の山車31輦の入退場を含めた揃い踏みがすべて観覧できる特別な空間。今回は、全国のコンビニエンスストアの端末からも購入ができることとなり、このレポートを読んでいたでいる頃には完売しているかもしれませぬ。より多くの方が訪れ、はんだ山車まつりが盛り上がり、天気も地域経済も、マークとなることを期待しています。

半田商工会議所青年部
会長 芳賀 康宜

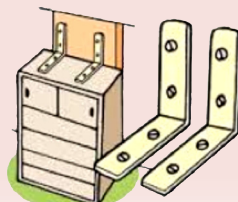
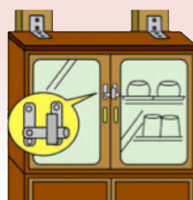
防災 Memo

地震の激しい揺れから命を守るために!

過去の大規模地震では、建物の倒壊や家具の転倒で多くの方が亡くなっています。家具の転倒防止は必須です。

★家具の転倒防止対策★

- ☐ 家具を壁や柱に固定する。
- ☐ 2段重ねの家具は上下を連結する。
- ☐ 軽いものを上に、重いものを下に収納する。
- ☐ 収納物の飛び出しを防ぐため、扉や引き出しをストッパーで固定する。
- ☐ 寝室やリビングなど長時間過ごす場所にはなるべく家具をおかない。



●問合わせ 防災交通課 ☎84-0626